

支援プログラム（5領域のとらえ）

こども発達支援センターそだち



健康・生活

それぞれの健康状態を把握するとともに、生活リズムを整えることができるようご家族の困りごとも含め一緒に取り組みます。

食や団らんを意識した活動、クッキングやおやつなど、楽しみにしてご家族とも共通の話題となるよう意識していきます。

運動・感覚

発達の順番を意識した活動（感覚統合の視点、心身の発達のバランスを捉える視点）により、子どもたちが自分の手足・目・口・耳・鼻・風・音…など感覚を意識して取り組めるような活動を、特性も意識しながら取り組んでいきます。

言語・

コミュニケーション

子どもたちの「意欲」「興味」を大切に、場面ごとに言葉や表情、身体の動きなどを使って表現する事を一緒に感じ、喜び、共有します。思いを伝えたいときどのように伝えるか？どんな気持ちをどう表出していくかなど、ご家族とも一緒に工夫し心身の発達を促します。



認知・行動

集団での遊びや生活を通して、様々な体験をお友達や大人と一緒にする事で、役割や状況の理解、自分自身の立ち位置などを知り、成功体験や経験の積み上げなどを促します。

それぞれの苦手とするポイントは個別の対応で子どもが大丈夫と思えるような取り組みや声掛けを工夫しています。

支援方針

子ども達がどんな事が苦手で、どんな事が得意なのか？また、ご家族や支援者が子どもの姿の何に困っていて、何に不安を感じているのか？それぞれが「わからない」事を明確にし、可視化し、根拠と目的のはっきりとした取り組みに落とし込んでいきます。そだちでの取り組みは、子どもの状態への理解を深める事と、ご家族や支援者が明確なビジョンをもって子ども達の「そだち」に向き合い「そだち」権利に寄り添える環境づくりを大切にしていきます。

人間関係・社会性

生活する場を「安心・安全」と捉えることができるように環境設定や大人との関係性を大切にします。（アタッチメント）小集団、個別、地域活動、など大人と一緒に失敗を気にせず楽しめる、やりきれ、褒められる、挑戦できる事を大切にして、活動を行います。